



平和首長会議ニュース

2018年8月 / 第104号

平和首長会議加盟都市数
163 か国・地域 7,632 自治体
日本国内加盟自治体数：1,729
(2018年8月1日現在)

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

◆ウェブサイト:

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html>

◆フェイスブック:

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>

「いいね！」をお待ちしています。

<<今号の内容>>

- ◆第8回平和首長会議国内加盟都市会議総会の開催について
- ◆第9回平和首長会議国内加盟都市会議総会の開催希望自治体の募集について
- ◆広島市・長崎市において平和式典を挙行
- ◆世界各地でのヒロシマデー・ナガサキデーの行事
- ◆国際平和デー(9月21日)記念行事を開催しましょう！
- ◆平和首長会議行動計画(2017年-2020年)に掲げる取組の実施にご協力ください
- ◆被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
- ◆加盟都市の活動紹介
- ◆ヒロシマ発平和関連ニュース(中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事)
- ◆「ヒバクシャ国際署名」への平和首長会議の賛同・協力について
- ◆平和首長会議会長訪問(8月1日~8日)
- ◆平和首長会議加盟自治体数: 163 か国・地域 7,632 自治体

■第8回平和首長会議国内加盟都市会議総会の開催について

平和首長会議の国内加盟自治体の首長で構成する「平和首長会議国内加盟都市会議」では、毎年一回総会を開催しており、平和首長会議の国内における活動に関する協議・意見交換、各加盟自治体の取組についての情報交換等を行っています。

今年度は、7月17日付けのEメールにてご案内したとおり、岐阜県高山市において第8回目となる国内加盟都市会議総会を開催いたします。

貴自治体におかれましては、当会議への出席をご検討いただければ幸いです。ご参加いただける場合は、Eメールで送付した案内に添付しておりました「出欠等連絡票」により8月31日(金)までにご回答くださいますようお願い申し上げます。一人でも多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

➢ 日程：平成30年(2018年)11月5日(月)、6日(火)

➢ 場所：ひだホテルプラザ(岐阜県高山市花岡町2-60)

※詳細については、7月17日付けの案内をご確認ください。

▼国内加盟都市会議総会のこれまでの実施状況はこちらからご確認いただけます。

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/report/index.html>

■第9回平和首長会議国内加盟都市会議総会の開催希望自治体の募集について

「平和首長会議国内加盟都市会議」では、毎年一回総会を開催しており、その開催地については、被爆70周年や80周年、4年に一度の平和首長会議総会開催年などの節目の年は広島市又は長崎市とし、それ以外の年については、開催希望自治体を募って決定することとしています。

については、来年度の第9回総会の開催希望自治体を募集しますので、希望される場合は、申請書を8月31日(金)までに事務局へご提出くださいますようお願い申し上げます。なお、開催希望自治体が複数あった場合は、別途調整させていただきます。

=====
■広島市・長崎市において平和式典を挙行

[8月6日、8月9日]

=====
原爆投下から73年目を迎えたこの夏、広島市と長崎市において平和式典が行われました。
8月6日に広島市で行われた平和記念式典(広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式)には、国連等国際機関の代表、85カ国及び欧州連合(EU)代表部の大使等を含む約5万人が参列しました。平和首長会議からは、理事都市でありタイにおけるリーダー都市であるバンコク市の代表が参列し、献花を行いました。
長崎市では8月9日に長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典が行われ、71カ国の大使等を含む約5,200人が参列しました。国連からは、グテーレス事務総長が国連事務総長として初めて長崎の式典に出席しました。
それぞれの式典において発表された平和宣言の全文は、次のリンクからご覧いただけます。

- ▼広島市-平和宣言(広島市ウェブサイト):
<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1110537278566/>
- ▼長崎平和宣言(長崎市ウェブサイト):
<http://www.city.nagasaki.lg.jp/heiwa/3020000/3020300/p031606.html>

=====
■世界各地でのヒロシマデー・ナガサキデーの行事

=====
8月6日及び9日を中心に、世界中の加盟自治体や平和団体等において慰霊や平和祈念のための行事が実施されました。世界各地で原爆犠牲者を追悼し、平和を願う行事に取り組んで下さった関係者の皆様に感謝します。
ヒロシマデー・ナガサキデー関連行事を含め、平和首長会議行動計画に基づく取組を実施する海外の都市等に関する情報を、以下のリンクからご覧いただけます。

- ▼平和首長会議行動計画に基づく取組実施都市等一覧(海外)(8月13日現在)(平和首長会議ウェブサイト):
http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/03_newmembers/2018_List_of_Activities_jp.pdf

=====
■国際平和デー(9月21日)記念行事を開催しましょう!

=====
国連では、毎年9月21日を「国際平和デー」と定め、世界中の停戦と非暴力の日としてこの日一日敵対行為をやめるよう呼び掛けています。今年の「国際平和デー」のテーマは「平和への権利—世界人権宣言70周年(仮訳) (“The Right to Peace – The Universal Declaration of Human Rights at 70”)」です。
平和首長会議もこの趣旨に賛同し、その行動計画において全ての加盟都市に記念行事開催を呼び掛けていくことを盛り込んでいます。本年は6月18日に配信した『平和首長会議ニュース(2018年6月)第102号』により全加盟自治体へ100日前メッセージを送付しています。
つきましては、各加盟自治体におかれましても、こうした趣旨をご理解いただき、2018年の国際平和デー記念行事を開催して下さいますようお願い申し上げます。
また、今年も引き続き、岐阜県高山市から加盟自治体に対し、高山市が市内の寺社等の協力を得て実施する一斉鐘打の取組に賛同し、9月21日正午に一斉鐘打を行っていただくよう依頼がありました。
各加盟自治体におかれましても、国際平和デーの記念行事の一環としてこの取組への御協力を御検討いただければ幸いです。なお、高山市の呼び掛けに御協力いただける自治体におかれましては、9月7日(金)までにメールで高山市(担当部署:協働推進課)にお知らせいただきますようお願いいたします。

- ▼高山市からの依頼文
http://www.mayorsforpeace.org/jp/whatsnew/news/data/20180817/Request_from_MfP.pdf
- ▼高山市役所協働推進課Eメール(担当:山本様):
kyoudou@city.takayama.lg.jp

▼平和首長会議事務局からの依頼文

http://www.mayorsforpeace.org/jp/whatsnew/news/data/20180817/Request_from_Takayama_City.pdf

▼国際平和デー(2018年9月21日)100日前メッセージ全文(平和首長会議ウェブサイト):

http://www.mayorsforpeace.org/jp/statement/mailmag/pdf/180613_IDP100day_message_J.pdf

▼International Day of Peace 21 September(英語)(国連ウェブサイト):

<http://www.un.org/en/events/peaceday/>

* 貴自治体で開催する国際平和デー記念行事の内容について、次のメールアドレスまでご一報ください。平和首長会議ウェブサイト等でご紹介いたします。

▼Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

=====

■平和首長会議行動計画(2017年-2020年)に掲げる取組の実施にご協力ください

=====

昨年8月に長崎市で開催された第9回平和首長会議総会において、「平和首長会議行動計画(2017年-2020年)」が策定されました。この行動計画に掲げられた、世界恒久平和の実現に向けた国際世論を醸成・拡大するための取組の推進にご協力ください。

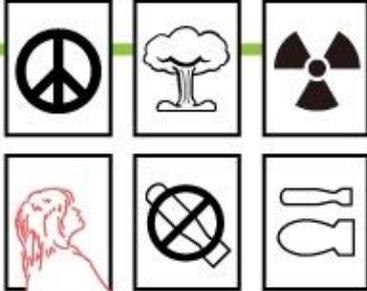
▼「平和首長会議行動計画(2017年-2020年)」(平和首長会議ウェブサイト):

http://www.mayorsforpeace.org/jp/report/meeting/data/9th_meeting/Action_Plan_2017-2020_J.pdf

【取組事例】



**「核兵器禁止条約」の
早期締結を求める署名活動に
取り組んでください**



**平和首長会議原爆ポスター展を
開催しましょう**



**「広島・長崎講座」の普及に
ご協力ください**

=====

■被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内

=====

平和首長会議では、昨年の第9回総会において策定された行動計画に沿った取組として、被爆樹木二世の苗木の配付を行っています。小・中学校の平和学習での活用や公共施設の改修にあわせた記念植樹など、平和のシンボルである被爆樹木二世の育成を通じて、市民の平和意識の醸成に取り組んでいただきますよう、ご検討をお願いします。

被爆樹木二世の苗木の配付を希望される場合、所定の申請書をEメール又はFAXにて事務局までお送りください。

※この事業は、通年でやっているため特に申請期限はありません。また、来年度以降も継続して実施しますので、来年度以降の苗木の受け入れについても、是非ご検討いただければ幸いです。

▼Email: kokunai-mfp@pcf.city.hiroshima.jp

▼FAX: 082-242-7452

▼被爆樹木二世の苗木の配付申請書、事業紹介パンフレット印刷用データ等のダウンロード

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort.html#section04>



**被爆樹木二世の苗木を
育ててください**

=====
■加盟都市の活動紹介
=====

*オルモック市(フィリピン) 絵本を活用した平和学習を実施

7月に平和首長会議に加盟したフィリピン レイテ島のオルモック市では、広島で被爆し、白血病と闘いながら折鶴を折り続けた佐々木禎子さんの物語を題材にした絵本「おりづるの旅」を活用した平和学習が行われています。

この絵本を多言語に翻訳し、海外に贈る活動を行っている広島のNPO法人「ANT-Hiroshima」の協力により、フィリピンの方言の一つビサヤ語版が完成し、教育省や商工会議所を通して、7月下旬にオルモック市の全小学校に寄贈されました。同市では、この絵本を読んだ中学生を対象に「平和のポスターコンテスト」や「平和のエッセイコンテスト」を実施するなど、平和の尊さを伝える取組が進められており、今回、同市から「平和のポスターコンテスト」最優秀作品の寄贈を受けました。

▼絵本の寄贈セレモニーの様子(平和首長会議ウェブサイト):

http://www.mayorsforpeace.org/jp/whatsnew/activity/180820_Ormoc_Activity_Report_J.html

*ビオグラード・ナ・モル市(クロアチア) 市長が旭日小綬章を受章

平和首長会議の役員都市であるビオグラード・ナ・モル市のイバン・クネズ市長が、2018年春の叙勲で旭日小綬章を受章しました。クロアチアにおける対日理解の促進及び日本・クロアチア間の地域交流の促進に寄与したことが認められたものです。

ビオグラード・ナ・モル市には平和首長会議の副会長都市、また、クロアチアにおけるリーダー都市として平和活動を牽引していただいています。

8月6日、同市で開催された原爆犠牲者追悼式典に合わせて、市役所前に設置されている折鶴のモニュメントのそばで瀧口敬二在クロアチア特命全権大使からクネズ市長に勲章が伝達されました。

▼受章報告と写真(クロアチア語、ビオグラード・ナ・モル市ウェブサイト):

<http://www.biogradnamoru.hr/novosti/1045-japanski-veleposlanik-odlikovao-gradonacelnika-ivana-kneza-orde-nom-izlazeceg-sunca>

<< 貴自治体の平和活動の情報をお知らせください >>

平和首長会議事務局では、新しい行動計画に盛り込まれている平和教育や平和文化等に関する行事実施の情報を募集しています。平和首長会議ウェブサイトの「加盟都市の活動」コーナーでご紹介しますので、記事のタイトル、英語版の有無、リンク先等の詳細を、次のアドレスにご連絡ください。

▼Eメール: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

海外加盟都市の平和首長会議行動計画に基づく取組に関する情報を、以下のリンクからご覧いただけます。

▼平和首長会議行動計画に基づく取組実施都市等一覧(海外)(8月13日現在)(平和首長会議ウェブサイト):

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/03_newmembers/2018_List_of_Activities_jp.pdf

=====
■ヒロシマ発平和関連ニュース (連載第46回)
=====

[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]

被爆73年の広島と長崎の「原爆の日」の式典が終わりました。ことしも焦点になったのは核兵器禁止条約でした。この条約に核保有国とその同盟国を巻き込むにはどうすればいいか。とりわけ被爆国でありながら背を向けたままの日本政府をどう翻意させるか。その答えはまだ出ず、二つの被爆地に突きつけられた課題があらためて見えてきました。

国際世論を動かすためには核兵器の持つ本質をもっと語り、そして告発する必要があります。核保有国と同盟国が安全保障を核抑止力に頼ることの愚かさを正面から問い続けるべきではないでしょうか。

その意味で、広島と長崎の原爆の日のスピーチの中で特に印象的だったのが、広島県の湯崎英彦知事の異例のあいさつです。親が子どもに聞かせる調子で核抑止論を「わが家と隣の家」との間柄になぞらえてみせたのです。

お隣の一家とは仲が悪いが、家ごと吹き飛ばす爆弾を隣に仕掛けてある。ただ、うちにも同じ爆弾が仕掛けられている。共倒れは嫌だから、大げんかにはならないし、たぶん爆弾は誤作動しない。おまえは安心していれば、いいんだよー。

そんな理屈に大人の社会が丸め込まれ、恥ずかしくないのかという問い掛けでしょう。こういう言い方もあるのか、と感心しました

私たちは原爆が広島と長崎にもたらした惨禍を直視し、世界に粘り強く発信してきました。それに加えて分かりやすく、説得力のある言葉で立場の異なる人々をも翻意させる必要があります。そのための方法をさらに考えていかなければならないと思います。

関連記事は次のアドレスで読めます。

○長崎で平和祈念式典 平和宣言「日本は条約に賛同を」

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=85753>

○長崎平和祈念式典 国連事務総長あいさつ

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=85838>

○広島・長崎市長と懇談 国連事務総長

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=85741>

○核兵器禁止へ「対話と協調を」 被爆 73 年 広島平和宣言

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=85484>

○湯崎広島県知事が核抑止力批判 たてえ話用いて 平和記念式典

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=85414>

○社説 ヒロシマ 73 年 被爆国の役割 自覚しよう

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=85327>

=====

■「ヒバクシャ国際署名」への平和首長会議の賛同・協力について

=====

平和首長会議では、第 9 回総会において策定された行動計画に基づき、「幅広い層の市民の平和意識の啓発」を目的として『ヒバクシャ国際署名』と連携した『核兵器禁止条約』の早期締結を求める署名活動を展開しています。

平和首長会議に寄せられた『核兵器禁止条約』の早期締結を求める署名と、「ヒバクシャ国際署名」で集められた署名を共に国連関係者に提出することとしています。

▼ヒバクシャ国際署名ウェブサイト:



=====

■平和首長会議会長訪問(8月1日～8月8日)

=====

毎年8月6日を中心に、広島市は多くの来訪者をお迎えしています。今年、松井一寛広島市長・平和首長会議会長は、次のような海外からの来賓の表敬訪問を受けました。その際に平和首長会議の取組や加盟要請への協力をお願いしました。

- * 8月5日(日) トーマス・ハイノツィ オーストリア共和国外務省軍縮局長
- * 8月5日(日) 中満泉 国際連合事務次長兼軍縮担当上級代表
- * 8月5日(日) グレネンガー・キドニー・ムスリラ・バンダ 駐日マラウイ共和国特命全権大使
- * 8月6日(月) ロイ・アミヤ ホノルル市行政長官
- * 8月6日(月) ワロップ・スワンディー バンコク都顧問会長
- * 8月6日(月) ジョイ・パトリック・サン・ニコラス テニアン・アギガン市長
- * 8月7日(火) ウィリアム・ハガティ 駐日アメリカ合衆国特命全権大使

8月8日には、長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典への参列のために長崎市を訪問されたアントニオ・グテーレス国連事務総長と、長崎市長と共に面会しました。事務総長が就任以降、核兵器の廃絶に尽力しておられることに敬意を表し、引き続きリーダーシップを発揮していただくようお願いするとともに、平和首長会議との連携を視野に入れた取組について配慮を依頼しました。

=====

■平和首長会議加盟自治体数: 163 カ国・地域 7,632 自治体

=====

8月1日付で、18自治体が加盟し、加盟自治体数は7,632(163カ国・地域)となりました。加盟促進に関する皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

日本国内では、東京都三宅村が加盟し、国内加盟自治体数は1,729(加盟率99.3%)となりました。

海外については、ポルトガルからカンポマイオール市が加盟しました。今年 5 月、駐日ポルトガル共和国特命全権大使と共に広島市を訪問されたカンポマイオール市長に対し、松井会長が加盟を要請したところ、同市の加盟が実現しました。また、駐日マラウイ共和国大使のご協力により、マラウイから 2 自治体が加盟しました。ドイツからは、副会長都市であり同国におけるリーダー都市であるハノーバー市の呼び掛けにより、10 自治体が加盟しました。この他、オーストラリア、スペイン、カナダから計 4 自治体が加盟しました。

引き続き未加盟の近隣自治体や姉妹都市への働き掛けなど、皆様のご協力をよろしく申し上げます。

▼8 月 1 日付新規加盟自治体一覧(PDF)

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/03_newmembers/2018/newmembers1808_jp.pdf

▼加盟自治体マップ

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/membercity/map.html>

*** 本メールニュースに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください***

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町 1-5

(公財)広島平和文化センター 国際部 平和連帯推進課

TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

▼Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp